



2月 ゆきが ふる 詞 /五十野惇

- (1) ゆきが ふる ちら ちら ちら ちら  
ちょうちょの とぶまね みたいだね
- (2) ゆきが ふる こん こん こん こん  
きつねの なきまね みたいだね

### 学生のブログコメントから

雪が降ってくるのではないか、と思える寒さになりました。こんな寒さの中でも、子どもたちは元気に外で遊んでいますね。「ゆきが ふる」は、そんな寒さの中でも、元気よく遊ぶ子どもたちにピッタリの曲だと思いました。皆で「ゆきが ふる」を歌いながら、「ちら ちら ちら ちら」のところでは、手をひらひらさせながら蝶の真似を、「こん こん こん こん」のところでは、手を頭の上に乗せて狐の真似をしながら歌うと、楽しく、体も温まる、素敵な冬の歌になると思いました。

都会ではこんなキレイな雪はもう見られるのも少なくなってきました。ですから、お遊戯の発表会などでこの歌を使ってみてはいかがでしょうか。舞台一面に子どもが転ばない程度に綿などで雪を表現してけいこさんが考えたような踊りを踊るのです。雪をあまり見たことのない子どもたちもこれなら喜んで踊って雪を体感できるのではないのでしょうか。

このおはなしでおもしろいなと思ったことは、ゆきが降っている様子をちょうちょが飛んでいる姿にたとえているところでした。

雪が降ると誰もが喜んでしまうと私は思います。こどもたちにとってはゆきはすごい存在だと思います。ゆきが積もって雪だるまを作った記憶があります。ゆきは冬にしかみられないので余計に貴重なものだと思うのでゆきとのふれあいを大切にしてもらいたいなと思いました。

雪の降り方を、ちょうちょやきつねであらわしているところがかわいいと思いました。子供たちも知っている動物なのでわかりやすいですね。この歌を雪が降ったときに大きな声で歌いたいと思いました。

「ちら ちら ちら ちら」のときにみんなでちょうちょのとぶまねをして、「こん こん こん こん」のときにはきつねのなきまねをしてやるとみんなで楽しめていいと思います。

ゆきが降る表現をちょうに例えるのはきれいだと思います。うたをかわいらしく表現できるのはいいと思います。雪が降っているみたいで楽しそうだなと思いました。寒いけれど雪で遊びたいなって思いました。

わたしは元々新潟出身なので雪んこなのですが、東京に住んでいる子どもたちはあまり雪に触れる機会はありませんね。たまに雪が積もると東京の人はこれでもか！というくらい滑って転びます。(新潟県民は転びません★笑)本題ですが、このお話をするに当たって子どもたちにも積もった雪を触らせてあげたいのです。雪の降る様子は見たことがあっても、なかなか積もりませんからね。雪国から直送された雪を室内で楽しめるイベントがあるのですが、そういうところに子どもたちを遠足で連れて行って、非日常的な雪を体験させてあげたいです。また、室内で雪の結晶を紹介して子どもたちに思い思いの雪の結晶を書いてもらいたいです！

2月 ゆき あそび 詞 /五十野惇

- (1) つかんで なげろ ゆきがっせん  
そーろり ころがせ ゆきだるま
- (2) すべって はしれ そりあそび  
つくって たのしい ゆきうさぎ

## 子育てコラム

「花ごおり」や「ウルトラマンごおり」、お聞きになったことがありますか。好きな花や大好きなキャラクターを氷に閉じ込めたものです。

最近では、誕生日やクリスマス、母の日、父の日といった記念日に「花ごおり」や「ウルトラマンこおり」と言って氷のギフトが届けられるとも聞きます。特にブライダルやイベントでは、特大の「花ごおり」が飾られ、会場を華やかにしている光景をTVなどで見る時がありますね。

一方で、氷の芸術は、豪華で目を見張るものがありますが、氷一面におもちゃを閉じ込め、氷を溶かしておもちゃをゲットする子ども達の遊びは、夏のイベントなどにもってこいです。

それにしても、「ウルトラマンこおり」など、見た目にはすぐ自分で作れそうですが、それがなかなか難しい。「氷って、こんなに身近なのに…」です。そんな冬の日、家の冷蔵庫の氷はちょっと白っぽいのに、どうしてつらは透明なんだろうなあと発見する時があります。そうこうしていると、誰かが電子レンジの「あたため」で、氷が解けないと聞いたので試してみると、本当に解けなかったと言い出す子どももいます。

こうして氷ひとつとっても、疑問・質問がいっぱい出てきます。その疑問・質問は、やはり子ども達の遊びから生まれるのですね。



2月 こおり 詞 /五十野惇

♪ つららの こおりは 「つん つん」してる で しよ  
♪ どうろの こおりは 「つる つる」してる で しよ  
♪ しもばしらの こおりは 「もこもこ」してる で しよ  
♪ おもしろい

### 学生のプログコメントから

氷にはいろいろな氷があります。また、そのひとつひとつがキラキラしていてとても幻想的です。その不思議を子どもたちにも触れさせてあげたいと思います。この歌を歌ってつららを取りにいった、道路ですべて、しもばしらをもこもこ踏みに行きたいと思います。

私は、「つん つん」という言葉に印象を受けました。つんつんといえば、尖っているイメージがあるので、つららにぴったしだと思いました。この音遊びだけでどんな氷か想像できると思いました。

部屋におるときにこの歌を聞かせて子ども達につららなどに興味をもたせて、庭など外で遊ばせるときに本物のつららや霜を子どもたちと発見させて冬の自然を肌で実感させて遊ばせればきっとみんな冬が好きになると思います。

今温暖化でなかなか氷をみかける機会が少なくなりましたが子供たちに氷とのふれあいを体で感じて欲しいと思いました。

家の冷蔵庫の氷はちょっと白っぽいのに、どうしてつららは透明なんだろうなあ、と昔よく疑問に思っていたことを思い出しました。ゆっくりゆっくり、全体が均等に冷やされていくから、つららや池の水面の薄い氷なんかは透明なんですよ。ここ数年、あの美しい氷を見る機会も減った気がしています。寂しい。

つるつるとかもこもことか気持ちよさそうで、楽しそうでいいと思います。いろんな氷の種類がわかって楽しいです。

つんつん、つるつる、もこもことか氷にもいろいろな表現があることがわかりました。つるつるは気持ち良さそうだし、もこもこはやわらかそうで、触りたくなりました。

氷のつるっとした感じが伝わってきました。小さい頃、霜柱と踏んで楽しかったのを思い出しました♪

つららや道路のこおり、しもばしらの踏んだときの感触などが可愛くかいてある。

私は、「つん つん」という言葉に印象を受けました。つんつんといえば、尖っているイメージがあるので、つららにぴったしだと思いました。つららを見たいと思いました。(でも、実際に、夏だから、見られるのは、当分先・・・・) この歌は、好きです。

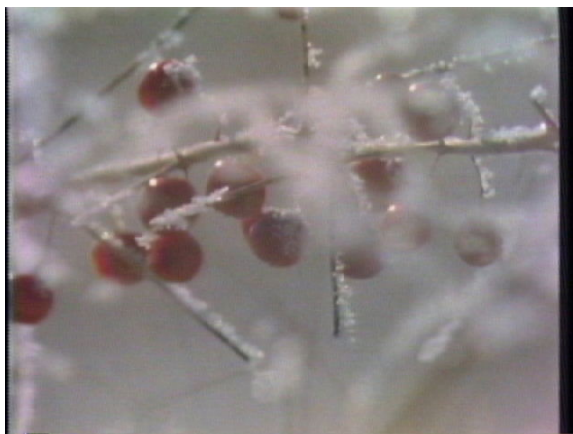
氷の様々な形や様子が楽しく表現されていてとても良い作品だと思います。確かに色々な形があるので面白いですよね！最近では、東京も暖かくなったせいで自然の氷を見ることが出来なくなりましたね。それがどことなく寂しいです。

つんつん・つるつる・もこもこ、もうこの通りだと思います。この音だけでどんな氷か想

像できると思いました。雪国生まれのあたしはいまでもつららを見ると折ってしまいます。  
笑

私は、「つん つん」という言葉に印象を受けました。つんつんといえば、尖っているイメージがあるので、つららにびったしだと思いました。

氷の表面の感じを「つんつん」「つるつる」「もこもこ」と様々な表現で表せているのは面白いです。冬にお散歩に行く前にみんなでこの季節のお話を読んでお散歩に行くときに、お話に出てくるつららや道路の氷、霜柱を探しながらお散歩したら、楽しいだろうなと思いました。雪が降った後のこおりの固まり方にもいろんな種類があって、それをじっくり見るのは面白いなと思いました。



2月 **なんてん** 詞 /五十野惇

- (1) はるから なつ しろい はなを さかせて さ  
なんてん
- (2) あきから ふゆ あかい みを つけて さ  
なんてん

### 学生のブログコメントから

なんてんという植物は冬に赤い実のなる木ならば、部屋などの装飾になんてんを利用して、子供たちの身近なところに忍ばせておけば、『こんな実がお部屋に飾ってあったな』と子供たちも思ってくれると思います。

なんてんの、春から夏にかけての写真と、秋から冬にかけての写真を子どもたちに見せながら、このお話を読んであげるといいと思います。

幼稚園や保育園でこのお話を読むときには、季節によって色が変わる植物や、りんごやトマトなどの、色を変えながら成長していく食べ物を紹介してあげると、子どもたちの知識もさらに広がると思います。

また、小学校低学年の子どもたちにこのお話を読むときは、「なんてんのように、季節や成長していくなかで、色を変える植物や食べ物を調べてきましょう」という宿題を出し、みんなで発表しあってみるのも面白いと思います。

なんてん、といえぼのど飴なんて考えてしまいました。季節によって色が違うなんて小さい子が好きそうだと思います。なんてんを時期によって印象に残るようなことをしていけば小さい子にも解るんじゃないでしょうか。例えばスケッチやつぶして色を出したりなどするといいと思います。

なんてんという言葉を見て、この詩を読んでいくうちに植物のことだと初めてわかりました。春から夏にかけては白い花がさき、秋から冬にかけては赤い実をつけるなんてんの写真や絵を子どもたちに見せながら読んであげるといいと思いました。

なんてんはかわいらしい名前なんだと改めて思いました。その特徴を活かして、なんてんと繰り返しでてくるのは頭に残りやすく、楽しいと思いました。

## 2月 ねこやなぎ

詞 /五十野惇

- (1) けで めが つつまれているよ  
ねこの け じゃない よ  
ねこやなぎ  
めが きいろい はなに なる  
ねこやなぎの おすの はな
- (2) けで めが つつまれているよ  
ねこの け じゃない よ  
ねこやなぎ  
めが しろい はなに なる  
ねこやなぎの めすの はな



## 学生のプログコメントから

私は小さい頃、ねこやなぎのふわふわしている毛がすきでよく触っていました。なので、子供たちにも実際にこのふわふわしたねこやなぎの毛を触らせてあげたらいいと思います。また、オスメスではお花の色が違うのでこれも実際に見せてあげたらいいと思いました。

今、ねこやなぎを知っていたり見たことない子供はたくさんいると思います。しかしこの詩を聞くと、特徴がわかり、こんなものかな？と想像できると思います。絵本にもたびたびねこやなぎはでてくるのでかわいらしく、子供に人気の植物だと思います。



2月 ふくじゅそう

詞 /五十野惇

- (1) おひさまが かおを だすと さく よ  
ふくじゅそう  
おしょうがつに かざる よ
- (2) おひさまが かおを けすと とじる よ  
ふくじゅそう  
おしょうがつに かざる よ

※ 福寿草という字の通り、おめでたい名前ですが、毒があるので口に入れてはいけません。



うえ みれば うめの はな

した みれば ふくじゅそう

詞 /五十野惇



(1) うえ みれば にっこ にこ  
うめの おはなが さきました  
もう はるですよ はるですよ

(2) した みれば にっこ にこ  
ふくじゅそうが さきました  
もう はるですよ はるですよ



### 学生のブログコメントから

木の上に咲く梅の花と地面に上に咲いている福寿草が、春がすぐ近くまで来ていることを教えてくれている詩だと私は思いました。実際子ども達とこの詩を読むときは、「はるですよ」のところをみんなで元気よく読めばいいと思いました。

### 2月 ふきのとう

詞 /五十野惇

(1) はるですよ  
おすの はな きいろい はな  
ふきのとう

(2) はるですよ  
めすの はな しろい はな  
ふきのとう





## 学生のプログコメントから

小学校の裏の原っぱに冬と春の間の季節の変わり目に、ふきのとうが芽を出していたのを思い出しました。実際にふきのとうを見たことがあるのに、オスとメスで色が違うということは知りませんでした。実際に山などで実物を見て、みんなで歌ってみると楽しいと思います。

春が来ると一番に思い出すのが私は、ふきのとうです。小さいのに一生懸命に頭を出して春を伝えるふきのとうが私は好きです。

ふきのとうに雄、雌があったなんて驚きました！沢山あると綺麗なんですよね・・・もうすぐ春なんだなと感じさせてくれます。

季節のお話を子ども達に聞かせた後、おすの花は何色でしょうか？黄色の花はおすの花ですか？めすの花ですか？などクイズ形式にしたら面白いかなと思います。

春になるとふきのとうが出てきますね。ふきのとうにもオスとメスがいて、花も違うなんてこれを読んで初めて知ったのでびっくりしました。